

綱 領

1. 吾々は、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. 吾々は、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
3. 吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

# 日赤新労

平成9年  
1月1日  
発行  
第155号

発行所  
日本赤十字新労働組合連合会  
(日赤新労)  
東京都港区浜松町2-6-8  
伸和ビル1F  
TEL (03)3433-3028  
FAX (03)3432-4560  
発行責任者 浜崎健蔵

## 平成8年度 第3回中央委員会開催

### 運動方針案、予算案など審議



十二月十五日、十六日の両日、清流木曾川と長良川に挟まれた岐阜県羽島市に於いて、平成八年度第三回中央委員会が開催された。「羽島かんぽ保養センター」を会場に行われた会議には、全国加盟単組より中央委員及びオブザーバー等八〇余名の参加を得て、盛大に開催された。

まず開会のことはの後、資格審査・成立確認(出席中央委員二名、委任状五名)が行われ、議長に高貴洋氏(千葉血セ)、副議長に富田実氏(豊橋血セ)、書記に飯田幹雄氏(岡山日赤)が選出された。

# 迎



— 執行部一同 —

執行委員長が挨拶に立ち、平成八年度ベア交渉の経過説明に加え、放射線照射従事者の特手当支給に関する具体的な運用やボランティア休暇制度の導入などについて、今後本社と慎重に協議していく考えを示した。また、審議項目である来年度運動方針案、予算案等については、出席者に活発な審議が求められた。



日赤新労加盟単組の組合員の皆様、明けましておめでとうございませう。交革の年、九七年の幕開けです。今年の大きな変化の一つに、労基法と関連法の改正があげられます。

戦後五十余年の経過を経て、日本経済発展の一翼を担ってきた労基法は、これまでも幾多の変遷をたどってきましたが、いよいよ週四〇時間制がすべての労働者で適用されることになり、また、八五年に制定された男女雇用機会均等法も、「行革」の流れの中で女子の保護規定撤廃を含んだ見直しが行われようとしています。

## 九七年年頭に当たって

中央執行委員長 梅村正一

一方、医療界でも大きな変化がやってきました。それは第三次医療法改正であり医療保険制度の改革です。このような中、労働界にも変革の波が押し寄せ、労働運動のシンボルと筆修正の上で承認された。尚、「情勢の特徴」においては、今後の国内外の動きに対応して大会までに修正することです。承された。

二、平成九年度予算案について

本部会計より、予算増となった科目を中心に説明が行われた。特に「中央委員会費」については、阿蘇に日赤の研修所が開設されるため、来年度第二回中央委員会開催を予定しており、そのための大幅増であるとの説明がなされた。また、消費税アップを指摘する質問もあったが、切り詰めて執行していくとの本部回答で予算案は承認された。

三、平成九年度本部役員について

役員選考委員長の小宅政恵氏(芳賀日赤)より役員選考の経過報告があり、現段階では単組推薦が二名、継続確保の取れたのが四名

## 放射線照射について

### 活発な意見交換

#### 報告事項

一、各部報告

【組織部】

○芳賀日赤、福井血セ、徳島血セの内部強化(研修会開催)

○若手乳児院、年末年始特別出勤手当について調査

【教宣部】

○幹部研修会報告

テーマ「公務における高齢対策」、講師「人事院管理局高輪対策室・兵頭英治氏、出席者六七名

○初心者研修会報告

【3B】「日赤新労とは」

粕谷幸司、「今、労働組合は」梅村正一

【5B】「日赤新労の組織と活動」川島環、「あなれを取りまく労働法」具職労・横溝修

二、一般経過報告

平成八年度ベアの妥結に至る経緯を中心に説明がなされた。

以上、賛成多数で承認。

【調査部】

○福利厚生補助金、放射線照射、年末一時金・年末年始特別出勤手当について調査

【審議事項】

一、平成九年度運動方針案について

スローガン、闘争方針案は異議なし。運動方針案については、各ブロック会議等で検討された修正点について審議が行われ、一部加

二、平成九年度予算案について

本部会計より、予算増となった科目を中心に説明が行われた。特に「中央委員会費」については、阿蘇に日赤の研修所が開設されるため、来年度第二回中央委員会開催を予定しており、そのための大幅増であるとの説明がなされた。また、消費税アップを指摘する質問もあったが、切り詰めて執行していくとの本部回答で予算案は承認された。

三、平成九年度本部役員について

役員選考委員長の小宅政恵氏(芳賀日赤)より役員選考の経過報告があり、現段階では単組推薦が二名、継続確保の取れたのが四名

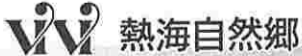
三、平成九年度本部役員について

役員選考委員長の小宅政恵氏(芳賀日赤)より役員選考の経過報告があり、現段階では単組推薦が二名、継続確保の取れたのが四名

## 第36回

### 定期全国大会案内

【日時】平成9年2月23日(日)~25日(火)  
【場所】静岡県熱海市



熱海自然郷

最後にになりましたが、組合員の皆様をはじめご家族の皆様が、今年も健やかに幸多い年でありませう。祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

平成九年度 元旦

運用面での具体的な内容がまだ明示されておらず、今後調査結果を踏まえて本社と協議してまいります。

④後付手当の改正について(第三ブロック)

一 一般職(一表のみ)でなく他表でも手当のアップを要求してほしいとの意見があり、各出席者からは賛否両論、多くの意見が出された。この件については単組に持ち帰り、大会で再提案されることになった。

⑤臨床工学技士の実態調査について(芳賀日赤)

臨床工学技士については配属等不明な点が多いとして、実態調査の依頼があった。

⑥例規集の差し替えについて(本部)

本社の行う差し替えが遅れているため、組合も二月以降にずれ込み見込みであると説明があった。

以上、賛成多数で決定。

# 各単組から 新年の ごあいさつ

今年もよい年でありますように!!



## 岩手血液センター 職員組合

新年、明けましておめでとうございます。当単組がこの一年間無事活動してこられましたのも一重に皆様のおかげと存じます。本年もよろしくお願ひいたします。

岩手は四国四県とほぼ同じ広さであり、山々に囲まれた自然豊かな県です。皆様もご存じのA.P.P.I.高原スキー場や、記憶にも新しい世界アルペンが行われた平石スキー場など、数多くのスキー場があります。盛岡の冬は札幌とほぼ同じ位の寒さになりますが、スキーやスケート等で寒さを吹き飛ばしてあります。

## 千葉県支部 職員組合

新年明けましておめでとうございます。日赤千葉支部は、日本列島のほぼ中央に突出する房総半島の中心、県都千葉市にあります。千葉市は山と海に恵まれ、千葉市は山と海に恵まれ、自然を有し、東京都方面に向かつては年々都市化の

傾向が顕著で、人口の流入流出の激しい地域です。県内には毎年一千五百万人以上の人々が集まる所として、東京デイズニード、成田山新勝寺、幕張メッセがあります。我々支部職員組合は、支部施設と日本で唯一の義肢製作所の職員も含めて構成されており、執行部のもとに青年部、女性部が置かれ、組合員の職場環境の改善を目指して活動しています。毎年四月始めの総会に始まり、暑気払い、新年会、臨時総会などを随時開催し、労使交渉の内容を伝えるとともに、親睦が図れるよう努めています。支部事業推進の財源は一般の方々から寄せられる社資によるため、赤十字の職員としての使命と組合員としての立場、すなわち、給与所得者としての一面が激しくぶつかり合い、個人所得、労働環境、時間外労働、休日出勤等の問題についてどのようにして解決策を見いだすべきかを悩ませたり、組合の意義を考えたりと、試行錯誤を繰り返しているのが実態です。成果はまだまだこれからですが、赤十字の理念のもと、当組合員の一人一人が明日のより働きやすい職場を日赤新労に属するすべての組合員とともに求める限り、新年の日の出と同様の輝きが私達頭上にも輝き続けるものと思っています。今年も、本部として新労加盟単組の皆様のご指導ご鞭撻を、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

(執行委員長 中村潤一)

(執行委員長 白石浩)

## 今津赤十字病院 新労 働 組 合

日赤新労の皆様、新年明けましておめでとうございます。今津赤十字病院は、博多湾から昇る初日の出の光に包まれて、新しい年を迎えることができました。今年もいろいろな出来事が待ち構えているかもしれませんが、共に悩み、共に安らぎ、共に生きていく、そういう気持ちで組合員一同頑張っていきたいと思っております。

私どもの今津赤十字病院は、九州の福岡市にあります。以前は結核療養所でしたが、昭和六十二年に新しく老年病センターとして生まれ変わりました。新築がなされてもう十年の歳月が流れ、懐かしいあの木造病院の頃に働いていた職員も、現在は少なくなりました。患者はほとんどが高齢者で、重度の寝たきり患者や痴呆患者も多く入院しています。限られたスタッフ数の中で、職員は看護や医療サービスの質が低下しないように、笑顔を絶やさず、日々奮闘しています。組合員の生活向上はもちろんです。お年寄りに対する医療サービスの向上やシステムの改善などに対して、組合も何らかの貢献ができればと考えています。最後になりますが、新労組合員の皆様のご多幸とご健康を祈念して、新年のご挨拶といたします。

## 単組主催による 初心者研修会に参加して

人でも多くの組合員に研修スカッションという形で活を受けたい」との気持ちから、日程的に無理を願ひしました。一日目は三名、二日目は七名の参加と盛況な研修会が全くなき、短い時間ではありましたが、今回の研修会を通して新労本部の必要性とは？との大命身近に感じることができ、今回、組合本部より研修会の話があったとき、「せっかく研修会をしてもう一度、演、午後からはフリーディ



多くの組合員が熱心に聴講した初心者研修会

また、単組執行部役員としても大変心強く感じました。私自身、「組合活動というのは誰か人のためにするのではなく、人の中で自分が育てられていくのだ」との本部役員言葉がとても印象的でありました。(執行委員長 牧田 昭)

## 徳島血液センター 職員 組 合

十一月十六日、本部より川島中央副執行委員長と浜崎中央書記長を講師に招いて、単組研修会が開催されました。

自分なりに感じたことを述べてみたいと思います。川島氏の話しの中で、「義務と権利を間違えてはいけない。あまり個人の権利ばかりを主張したあまり、会社がつぶれてしまった事例もある」とありましたが、確かに以前の高度成長期の労働組合には、そうした権利ばかりを主張することが組合の本分であるような風潮が、特に官公労の組合にみられました。しかし、バブル経済の崩壊以後、低成長のデフレ社会となり、会社が生き残り

をかけたリストラを実施し、会社の再生を図っている現状、権利と義務の関係をどうにか重要な課題となっていて大変重要であり、患者の命を守る者としての義務を再認識し、また義務を果たした上での権利を主張することが私たちの労働組合活動には大切であるという教えを戴き、両講師に感謝しております。これからは、この研修会の成果を踏まえた組合活動を実行していきたいと思っております。(組合員 松屋久美子)

## 北から 南から

## 親子で但馬牛に 舌づつみ

### 鳥取赤十字病院職組

鳥取単組では、毎年秋のどですれ違ひの親子、子供行楽シーズンに、親子で参加できるバスツアーを企画しています。日頃、夜勤な皆さんに子供を連れて

から言ってもできることではありませんでした。今回の研修に参加して、私たちの仕事は社会にとって大変重要であり、患者の命を守る者としての義務を再認識し、また義務を果たした上での権利を主張することが私たちの労働組合活動には大切であるという教えを戴き、両講師に感謝しております。これからは、この研修会の成果を踏まえた組合活動を実行していきたいと思っております。(組合員 松屋久美子)

今年も三六人がバス一台を食切り、鳥取県を越え、お隣の兵庫県の山中に整備された但馬公園牧場へと出かけました。グラススキー、動物公園でやぎや鶏と遊んだ後、いよいよお待ちかねの但馬牛のバーベキューです。但馬は閉鎖された土地を利用して純血牛を飼育するため、高い品質の牛肉になるそう。三重県にも出荷され松阪牛にもなっているの知った途端、ひと味もふた味も違う牛肉に、大人も子供も食べに食べ、大満足でした。お土産には日本海産物をお土産に買込み、夕食のおかずも仕入れて、文字通り腹も心も大満足の日となりました。

## ボランティア休暇制度

国家公務員は1月から、日赤では検討中

阪神淡路大震災を契機にボランティア活動に関心が深まっています。国家公務員は平成9年1月から「年5日間、国内限定、特別有給休暇」で実施されます。

日赤本社でも現在検討中ですが、日赤の場合、事業の中でボランティア活動を支援していることもあり、業務とボランティア活動との境界をどこで仕切るかなど、導入部分で十分検討して制度を確立する必要があります。国公で導入したからといって、すぐに日赤職員にもというわけにはいかないのです。

ボランティア活動は、あくまでも「自発的に、目的をもって、が原則で、強制的なものではありません。休暇の取得方法は、特別有給休暇で処理されることとなります。



好評だった親子で参加できるバスツアー